

令和5年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和4年8月10日

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア
 コード番号 3851 URL <http://www.nippon1.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川宗平
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 世古哲久
 四半期報告書提出予定日 令和4年8月10日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 058-371-7275

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年3月期第1四半期の連結業績(令和4年4月1日～令和4年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第1四半期	1,253	39.1	278	61.8	442	39.0	294	40.3
4年3月期第1四半期	2,057	93.3	729	353.6	725	360.3	493	547.1

(注) 包括利益 5年3月期第1四半期 609百万円 (22.0%) 4年3月期第1四半期 499百万円 (416.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第1四半期	58.58	58.38
4年3月期第1四半期	97.86	97.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年3月期第1四半期	8,662	6,723	75.8
4年3月期	8,225	6,138	72.7

(参考) 自己資本 5年3月期第1四半期 6,568百万円 4年3月期 5,980百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期				5.00	5.00
5年3月期					
5年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年3月期の連結業績予想(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,298	8.4	806	37.4	807	37.6	507	41.8	100.82
通期	6,378	11.6	1,424	9.1	1,433	15.1	935	26.5	185.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8'2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8'2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年3月期1Q	5,124,700 株	4年3月期	5,121,700 株
期末自己株式数	5年3月期1Q	90,856 株	4年3月期	90,813 株
期中平均株式数(四半期累計)	5年3月期1Q	5,033,257 株	4年3月期1Q	5,047,611 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、感染症対策の拡大により経済活動が大きく制限され混乱をきたしています。一方で、外国人観光客の入国制限の見直しなどの規制緩和により元の社会に戻りつつありますが、引き続き先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループが所属するゲーム業界では、巣ごもり景気に対する反動がモバイルゲーム市場の拡大により軽微になることで、ゲーム市場全体では今後も堅調な推移が続くことが予想されます。また、デジタル化の進展に伴い、家庭用ゲーム機におけるダウンロード販売の拡大や、クラウドゲームサービスの登場によるプラットフォームの多様化、成長市場として近年注目されているeスポーツの発展など、市場環境には更なる変化が見られます。

当社グループは、このような経営環境の中、当社グループの商品やサービスを通じてゲームという分野に限らず年齢・性別・地域を超えたすべての人々に楽しさを提供し、その結果として当社グループと当社グループに関わるすべての人々が豊かになることを目指して成長してまいります。当社グループは永続的な発展を目指し、「開発力の強化」「販売力の強化」「生産性の向上」に取り組んでまいります。

このような状況の中、エンターテインメント事業におきましては、全3タイトルのゲームソフトを発売いたしました。また、インターネット環境でゲームソフトを購入できるPlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売等を行いました。

学生寮・その他事業におきましては、岐阜県内の大学学生寮の運営を行ってまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高1,253,234千円（前年同期比39.1%減）、営業利益278,400千円（同61.8%減）、経常利益442,359千円（同39.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益294,857千円（同40.3%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

なお、前第3四半期連結会計期間より、学生寮の建設に伴い固定資産額が増加し、当該事業の重要度が増したため、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前連結会計年度との比較については、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(エンターテインメント事業)

パッケージタイトルとしましては、『夜廻三』、『void* tRrLM2();//ボイド・テラリウム2』等の合計3タイトルを発売いたしました。また、第2四半期以降に発売を予定しております『グリムグリモア OnceMore』等の開発を進めてまいりました。

その他につきましては、PlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売等を行いました。加えて、新規タイトルの開発及び関連商品のライセンスアウト、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営も引き続き行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高1,236,959千円（同39.6%減）、営業利益361,414千円（同55.3%減）となりました。

(学生寮・その他事業)

学生寮・その他事業におきましては、学生支援を目的として岐阜県内の大学学生寮2件の運営を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高16,275千円（同61.9%増）、営業損失9,019千円（前年同期営業損失5,105千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,662,672千円となり、前連結会計年度末に比べ437,542千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の減少（前連結会計年度末に比べ344,271千円の減少）、売掛金の増加（同87,934千円の増加）、商品及び製品の減少（同54,195千円の減少）、前払費用の増加（同158,249千円の増加）によるものであります。

主な固定資産の増減は、土地の増加（同89,840千円の増加）、投資有価証券の増加（同525,585千円の増加）によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,939,056千円となり、前連結会計年度末に比べ147,420千円の減少となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の減少（同15,743千円の減少）、短期借入金の減少（同24,000千円の減少）、未払金の増加（同34,965千円の増加）、未払法人税等の減少（同59,207千円の減少）、賞与引当金の減少（同128,373千円の減少）、契約負債の減少（同17,827千円の減少）、返金負債の増加（同49,006千円の増加）によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は6,723,616千円となり、前連結会計年度末に比べ584,962千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加（同269,703千円の増加）、その他有価証券評価差額金の減少（同51,775千円の減少）、為替換算調整勘定の増加（同366,068千円の増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、堅調に推移いたしておりますが、第2四半期連結会計期間以降の商品の販売動向等、いまだ不確定な要素を含んでおります。

従いまして、令和4年3月期決算短信（令和4年5月13日付公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,768,581	4,424,310
売掛金	287,794	375,729
商品及び製品	202,864	148,668
仕掛品	350,971	390,136
前払費用	418,893	577,143
その他	246,864	195,505
貸倒引当金	△16,755	△17,563
流動資産合計	6,259,214	6,093,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	866,168	858,368
機械装置及び運搬具(純額)	4,158	5,367
土地	568,460	658,301
建設仮勘定	7,000	—
その他(純額)	31,184	34,010
有形固定資産合計	1,476,971	1,556,047
無形固定資産	10,414	9,897
投資その他の資産		
投資有価証券	395,435	921,021
その他	83,094	81,775
投資その他の資産合計	478,530	1,002,796
固定資産合計	1,965,916	2,568,741
資産合計	8,225,130	8,662,672

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	226,972	211,228
短期借入金	58,000	34,000
1年内返済予定の長期借入金	23,307	25,656
未払金	117,372	152,337
未払法人税等	164,470	105,262
賞与引当金	170,820	42,447
契約負債	78,477	60,650
返金負債	292,954	341,960
その他	158,313	168,560
流動負債合計	1,290,690	1,142,103
固定負債		
長期借入金	688,367	681,555
退職給付に係る負債	56,935	59,526
その他	50,483	55,870
固定負債合計	795,786	796,952
負債合計	2,086,476	1,939,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,900	553,614
資本剰余金	541,900	543,614
利益剰余金	4,529,140	4,798,843
自己株式	△56,288	△56,349
株主資本合計	5,566,652	5,839,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,221	△49,553
為替換算調整勘定	411,808	777,877
その他の包括利益累計額合計	414,030	728,324
新株予約権	157,971	155,568
純資産合計	6,138,653	6,723,616
負債純資産合計	8,225,130	8,662,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月 1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月 1日 至 令和4年6月30日)
売上高	2,057,151	1,253,234
売上原価	882,839	504,107
売上総利益	1,174,311	749,126
販売費及び一般管理費	445,136	470,726
営業利益	729,174	278,400
営業外収益		
受取利息	3,266	12,297
受取配当金	107	130
為替差益	—	152,523
その他	837	1,160
営業外収益合計	4,211	166,112
営業外費用		
支払利息	574	1,549
為替差損	7,428	—
その他	216	602
営業外費用合計	8,219	2,152
経常利益	725,166	442,359
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,074
特別利益合計	—	1,074
税金等調整前四半期純利益	725,166	443,433
法人税、住民税及び事業税	231,188	140,691
法人税等調整額	—	7,885
法人税等合計	231,188	148,576
四半期純利益	493,977	294,857
親会社株主に帰属する四半期純利益	493,977	294,857

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年4月 1日 至 令和3年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年4月 1日 至 令和4年6月30日)
四半期純利益	493,977	294,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△493	△51,775
為替換算調整勘定	6,018	366,068
その他の包括利益合計	5,524	314,293
四半期包括利益	499,501	609,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	499,501	609,151
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

海外連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間 (自令和3年4月1日 至令和3年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,047,099	10,051	2,057,151	—	2,057,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,047,099	10,051	2,057,151	—	2,057,151
セグメント利益又は損失 (△)	808,530	△5,105	803,424	△74,249	729,174

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△74,249千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「II 当第1四半期連結累計期間 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

II 当第1四半期連結累計期間 (自令和4年4月1日 至令和4年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,236,959	16,275	1,253,234	—	1,253,234
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,236,959	16,275	1,253,234	—	1,253,234
セグメント利益又は損失 (△)	361,414	△9,019	352,395	△73,995	278,400

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△73,995千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来コンピュータソフトウェアの開発・製造・販売を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しかったことから記載を省略しておりましたが、連結子会社である株式会社楽しみチームにおける学生寮等の事業規模が拡大したことから、前第3四半期連結会計期間より、当社グループの事業を「エンターテインメント事業」と「学生寮・その他事業」に区分いたしました。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。